

平成19年度の検討会の進め方

平成19年度検討事項

1. 具体的な対策事例の検討

個々の火山で適切な避難計画が作成されるように、ハザードマップが作成されており、噴火等の実績を考慮して、実際の防災対策が進んでいる次の活火山について具体的参考事例として検討する。

<対象事例>

北海道駒ヶ岳 / 有珠山 / 十勝岳 / 岩手山 / 浅間山 / 伊豆大島 / 阿蘇山 / 桜島

<主な検討事項>

地域防災計画等の現状把握・課題整理
ハザードマップの整備状況 等

2. 地方公共団体へのヒアリング等

火山防災対策のあり方の検討にあたって、防災業務の担当者からの意見聴取等を実施。

<主な調査事項>

過去の噴火時の対応
新レベルと防災対応
防災対策の実施状況 等

3. 平常時からの市町村等の連携体制のあり方
(アンケート調査)

平常時における協議会等の設立にあたっての留意事項などをまとめる。

<主な調査事項>

協議会等の設立・運営上の課題
協議会等の役割(平常時、噴火時等)
相互間地域防災計画等の策定状況

4. その他個別に検討すべき避難体制

島嶼火山における全島避難のあり方についてまとめる。

5. 地域住民への啓発

地域住民が火山情報や避難計画を十分に理解するための方策を検討。

<主な検討事項>

各地の啓発事業の取り組み状況
対象者別の啓発のあり方 等

第4回検討会(平成19年6月7日)

平成19年度の検討会の進め方
新しいレベル名称と火山情報の改善
有珠山における取り組み
アンケート結果
避難体制の構築等における課題の検討

第5回検討会(平成19年8月1日)

阿蘇山における取り組み
ヒアリング結果
避難体制の構築等における課題の検討
普及・啓発の取り組み

第6回検討会(平成19年10月12日)

火山防災対策に関する課題の抽出と対策案の検討
「火山防災対策のあり方」の取りまとめ方針の検討

第7回検討会
(平成19年11月下旬～12月上旬頃予定)

「火山防災対策のあり方」素案の検討

第8回検討会(平成20年1月下旬頃予定)

「火山防災対策のあり方」(案)の検討